Creative Enzymes®

# ネイティブ・シュードモナス属 Sphingolipid セラミド N-脱アシル化酵素

*Cat. No. NATE-0896*

*Lot. No.* (See product label)

## *はじめに*

| | |
|---|---|
| *□明* | スフィンゴ脂質セラミドN-脱アシル化酵素（SCDase）は、シュードモナス由来であり、さまざまなスフィンゴ脂質のセラミドにおける脂肪酸とスフィンゴシン塩基の間のN-アシル結合を加水分解します。この酵素は逆反□も触媒し、トランスアシル化活性を持っています。SCDaseは、さまざまな酸性および中性グリコスフィンゴ脂質およびスフィンゴミエリンに作用しますが、セラミドに□しては低い活性を示します。 |
| *用途* | 脂肪酸とスフィンゴシン塩基の間のN-アシル結合の加水分解 スフィンゴ脂質の加水分解 |
| *別名* | SCDase; スフィンゴ脂質セラミドN-脱アシル化酵素 |

## *製品情報*

| | |
|---|---|
| *種* | シュードモナス属 |
| *由来* | シュードモナス属 |
| *形態* | 0.1% Lubrol PXを含む50 mM酢酸ナトリウム溶液（pH 6.0） |
| *濃度* | 5 mU/μL |
| ***最適pH*** | pH 5.0–6.0 |
| *阻害剤* | Hg2+、Zn2+、Cu2+ |
| *単位定義* | 1ユニットは、1分あたり1μmolのアジアロGM1の加水分解を触媒するのに必要な酵素の量として定義されます。 |

## *保管・発送情報*

| | |
|---|---|
| *保存方法* | 使用するまで–20°Cで保管してください。再構成した溶液は、アリコートに分けて–20°Cで保管してください。凍結-解凍を避けてください。 |